

1 はじめに

本校では、「学校や学級での好ましい人間関係の構築と自主的・実践的な態度を育む特別活動の在り方」をテーマとして特別活動を行った。学級や他学年の友達と良好な関係を築くためにはどうすればよいのかを児童が中心となって考え、昨年度から実践を行っている。今年度は更に内容をブラッシュアップして実施した。

2 実践事例「いじめゼロフォーラム～誰もが安心して登校できる学校づくりを目指して～」

(1) 実施に至った経緯

本校では、毎月「心の安心・安全点検」という学校生活に関するアンケートを実施している。いじめ早期発見のため、アンケートの中に「友達から言われたこと、されたことで悩んでいることはありますか」「ずっとつらい思いをしている友達を知っていますか」という項目を設けている。結果、毎月いじめと認知できる事案が起こっていることがわかる。そこで、いじめに対する意識を高めるとともに、学級でなにかできることがないか考える機会を設けたいと思い、「いじめゼロフォーラム」を実施することとした。

(2) 実施内容

実施するにあたって、事前に各学級でいじめをなくすためにはどうしたらよいかを話し合った。どの学級でも「相手の気持ちを考えて行動する」「友達のいいところを探す」「ありがとうやごめんなさいをすぐに言えるようにする」などの意見が挙がり、そこから学級ごとに「いじめゼロ宣言」を作成した。また、運営委員が日常生活の中でよく見られる光景（仲良しグループの中でいじられキャラとして自分だけがいじられる）を演じ、動画に撮影した。実施当日は、各学級の代表児童が多目的室に集まり、話し合っている様子をteamsで中継した。運営委員会で作成した動画を流し「これはいじめかいじめではないか」のアンケートをとった後、各学級の代表が「いじめゼロ宣言」を発表した。実施後「いじめゼロ宣言」は、各教室に掲示し続け、意識を高めている。また、今年度はいじめをなくす1つの方法として、友達や先生をと気持ちの良い挨拶をするということと呼び掛けた。気持ちの良い挨拶から1日を始めることでより良い人間関係を気づけるようにしている。



3 成果と課題

(1) 成果

毎年「いじめゼロフォーラム」を実施することで、児童のいじめをなくそうとする気持ちを高めることができています。また、準備から実施まで、運営委員会を中心とした児童主体で行うことができ、児童の自主的・実践的な態度を育むことができた。

(2) 課題

昨年度と同様、「いじめゼロフォーラム」のあとに「いじめゼロ宣言」を学級の指導に生かせていない学級が見られた。来年度はいじめゼロ週間等を設け、児童の意識をより一層高めていけるようにしたい。